

重要取組シート

農業委員会事務局

取組項目		円滑・確実な委員会運営	
現状・課題		<p>○令和 8 年度は、農業委員及び農地利用最適化推進委員が任期満了を迎えるため、7 月の改選に向け、選任事務を滞りなく進める必要がある。</p> <p>○農業委員会の活動は、市民の営農経済活動等に対し直接の影響があるため、法令に規定された事務について、遅滞なく確実に実施しなければならない。</p> <p>○そのため、委員が参加しやすい総会運営、委員の実地活動における安全確保や効率性の向上を図る必要がある。</p>	
取組の内容		<p>■ Web 会議システムを利用した会議出席など、多様な委員が参加しやすい総会運営を行う。</p> <p>■ 例年行う委員向けの研修に加えて、改選後も総会等の会議運営や委員の現場活動が円滑に継続されるよう新任委員に向けた研修を実施する。</p> <p>■ 委員の担当区域における農地の確認業務においても、現地調査時の安全確保や業務の効率化につながる ICT（衛星システム等を活用した農地状況の把握）の導入について、国が開発を進める農業委員会サポートシステムとの親和性も勘案しながら、検討を進める。</p>	
スケジュール	前期 (～9月)	<input type="checkbox"/> Web 会議システムの活用や委員のサポートによる総会等の円滑な実施（毎月） <input type="checkbox"/> 市長部局と連携による委員の改選（4～7月） <input type="checkbox"/> ICT の導入事例調査（先進事例の調査等）（4～7月） <input type="checkbox"/> 新任委員向け研修（7～8月） <input type="checkbox"/> ICT の事例調査を踏まえ、導入の可否を検討・決定（8～10月）	
	後期 (～3月)	<input type="checkbox"/> ICT を導入する場合は予算要求措置（10月） <input type="checkbox"/> 委員への事例研修等（随時）	
	次年度以降	<input type="checkbox"/> R8 年度の進捗状況を踏まえ、具体的な取組を実施・継続	
進捗の状況	前期 (～9月)		
	後期 (～3月)		
2030 堺市基本計画	該当する 施策	4- (7) 次世代につなげる農業の促進	
	寄与する KPI	市内で採れた食材を食べていると答えた人の割合 (概ね6か月以内) [現状値：59.6% (2024年度)]	目標値 (2030年度) 65.0%
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 2	飢餓をゼロに
	寄与する KPI	市内で採れた食材を食べていると答えた人の割合 (概ね 6 か月以内) [現状値：59.6% (2024年度)]	目標値 (2030年度) 65.0%